

2024 年 9 月 24 日

柏崎刈羽原子力発電所 7 号機の再稼働準備状況に関する報告書（要約版）

原子力改革監視委員会

1. はじめに

2024 年 5 月 13 日（月）から 17 日（金）の 5 日間にかけて、原子力改革監視委員会（以下、「NRMC」という。）の委員を含むレビューチームによって、柏崎刈羽原子力発電所（以下、「柏崎刈羽」という。）7 号機の再稼働に向けた準備状況のレビューを実施した。

2. レビュー概要

柏崎刈羽 7 号機の再稼働準備状況を確認するために、運転に向けた準備状況、緊急時対応、パフォーマンス改善・リスク管理、安全文化、再稼働に向けた他各種活動など、柏崎刈羽の再稼働に付随する安全とルール・基準に関連する活動について、現場確認や関係者へのインタビューを実施した。レビューチームは、NRMC のチャールズ・カストー委員をリーダーとし、海外原子力専門家等を加えた計 4 名で構成された。

3. レビュー結果

原子力安全上の懸念や発電所の安全対策、発電所員の安全意識に問題は見つからず、柏崎刈羽の安全文化は健全であった。東京電力ホールディングス株式会社は、柏崎刈羽 7 号機の再稼働に向けて堅実かつ十分な準備をしているという結論に至った。

現場確認を通じて、プラント設備（資機材含む）の維持、現場の整理整頓は模範的に行われていると評価した。リーダー層を含む発電所員へのインタビューは、忌憚のないオープンな形で実施され、所員の心構えと態度は非常に優れており、士気も高いことを確認できた。所員は自らがやるべきことを前向きに捉え、業務に取り組んでいる。

再稼働までに処理されるべき未完了の作業は少なく、再稼働に必要な作業は計画されている。

4. リーダー層に向けたメッセージ

柏崎刈羽 7 号機の再稼働に影響を及ぼす問題は見つからなかった。リーダー層は、ルール・基準の遵守を重視した指導を既に行っており、柏崎刈羽は進歩を遂げている。今後も、期待事項を満たさない場合は、作業を中断し、ピアチェックと 3Way コミュニケーションを積極的に活用し、あらゆる作業において、適切なヒューマンパフォーマンス（ヒューマンエラー防止）ツール活用の更なる徹底を図っていくことが重要である。

以 上